品番
N303HC

カウンターオンタイプ浄水器

クリンスイ 据付説明書

給水一次側配管との接続および検査は管工事業者に依頼してください。
器具をシステムキッチンに取り付ける作業は、システムキッチン取付設置業者で実施することができます。

●据付される方へお願い
この器具を安全に正しく設置いただくために、「据付説明書」を必ずお読みください。

1. 安全上の注意

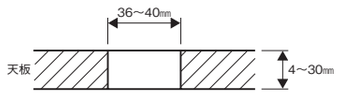
ここに示した安全上の注意事項は、お守りいただかない場合、重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●次の表示は、表示内容をお守りいただかず、誤った取り扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠注意	軽傷を負ったり、周辺の家財に損害を与える可能性のある内容を表します。

●次の表示区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	してはいけない『禁止』内容を表します。	分解禁止	してはいけない『分解禁止』内容を表します。	指示	必ずしてほしい『指示』内容を表します。

⚠注意	
指示	●配管工事はすべて建築基準法、水道法、各地域の条例に準じて行う。
	●水道水の水質基準に適合した水を使用する。温泉水・井戸水など異物を多く含む水には使用しない。 体調を損なうおそれがあります。
	●ホーロー、天然石のシンク天板に穴を開ける 場合は、キッチンメーカーに相談する。 カウンターの適合穴径は36～40mm、天板厚は4～30mmです。 無理に穴を開けて取り付けると、家財を傷付けるおそれがあります。 
	●止水栓取付箇所や給水管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にする。 点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らすおそれがあります。
	●必ず同梱の各部品をセットして使用する。 部品をセットし忘れたり純正以外の部品を使用すると水漏れの原因となり、 家財などを濡らすおそれがあります。
分解禁止	●水栓本体、浄水カートリッジは分解しない。 破損や水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
禁止	●製品に強い力や衝撃を与えない。 破損して水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
	●吐水口を手やふきんなどで触れない。 雑菌が繁殖するおそれがあります。
	●浄水カートリッジを落としたり、強い力や衝撃を与えない。 破損・変形し、十分な性能を発揮できなくなるおそれがあります。

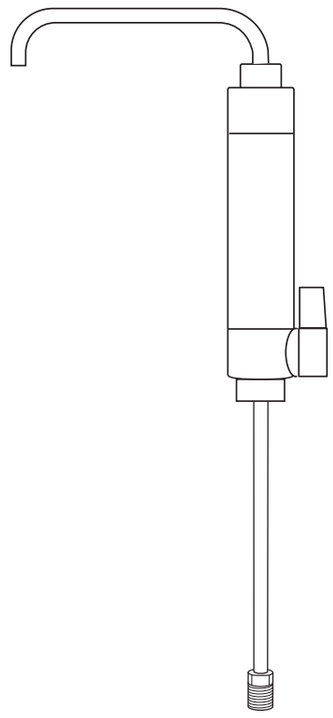
2. 給水条件

本器具の使用可能給水圧力（静水圧）は 0.75MPa 以下、常用使用圧力（動水圧）は 0.07～0.35MPaです。

⚠ 給水圧力（動水圧）が設置条件0.35MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。

3. 梱包部品 最初に下記内容部品がそろっているかご確認ください。

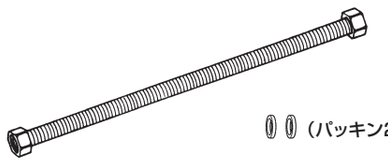
水栓本体　1本



水栓の付属品

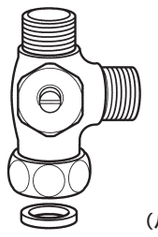
六角レンチ（4 ㎜）キャップ　2 個付（予備 1 個）

フレキ管　1 本



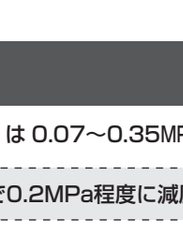
（パッキン2個付）

止水機構付分岐栓　1 個



（パッキン 1 個付）

取付金具本体　1個



浄水カートリッジ　1本

カートリッジ
交換日シール

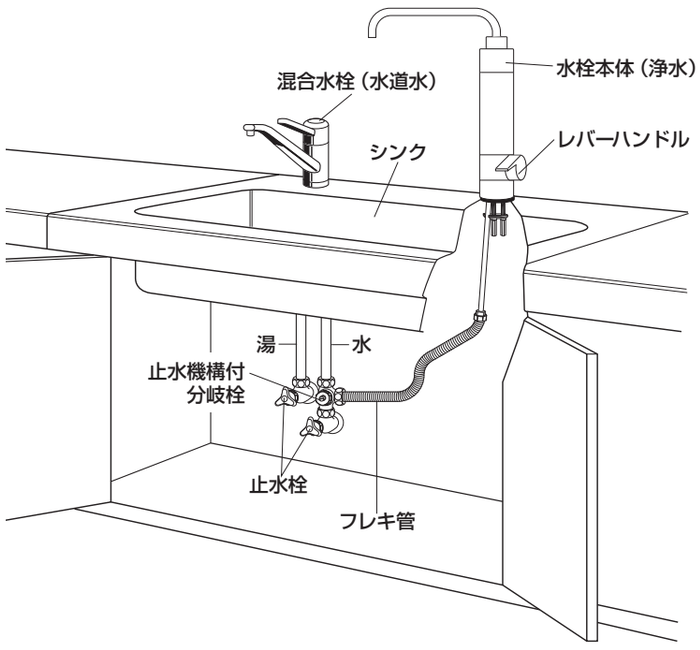
説明書入り袋　1 式

- 取扱説明書（保証規定付き）
- 据付説明書
- 本体貼付ラベル

4. 器具の据付

4 - 1. 据付場所の選定

■取付例



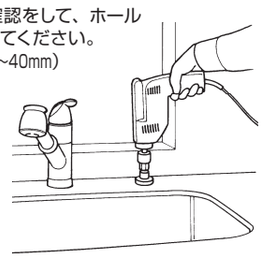
■シンク上
●水栓本体は障害物がなくレバーハンドル操作スペースが確保できる場所に設置してください。

■シンク下
●水栓本体、止水機構付分岐栓がフレキ管で接続できる場所を設置してください。
●各部材は、既設の配管にぶつからない場所に設置してください。

4 - 2. 水栓の据付方法

①天板に水栓本体据付の穴を開ける。

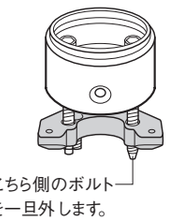
・据付け位置の確認をして、ホールソーで穴を開けてください。
（穴径：直径 36~40mm）



⚠注意
・ホーロー、天然石のシンク天板に穴を開ける場合はキッチンメーカーにご相談ください。

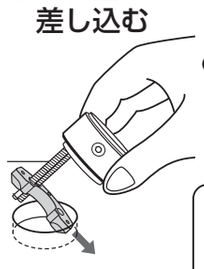
②部品箱に入っている取付金具を取り出す。

・取付金具のボルトを片側のみ外します。



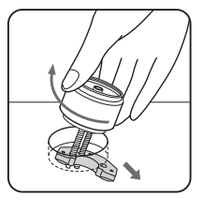
こちら側のボルトを一旦外します。

③取付金具を天板の穴に差し込む



●馬蹄金具を天板の取付穴に入れます。

●入りにくいときは、取付金具本体を**右**にひねりながら挿入します。



④取り外したボルトを差し込む

●③で取り外したボルトを本体の穴に差し込み、そのまま落します。
●取付金具本体を天板の穴の中心に合わせます。

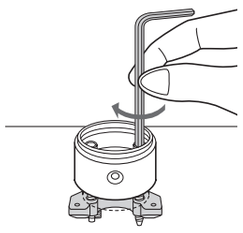
※まっすぐに落して、馬蹄金具の穴に入れてください。

この穴が正面となります。

⚠注意
・馬蹄金具の穴の入ったことを確認してください。

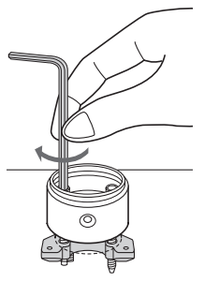
⑤レンチをタテにして締め付ける

・最初に差し込んだボルトを付属の六角レンチで締め付けます。



⚠注意
・天板とのすき間がないように取付金具本体を天板の穴の中心に合わせながらボルトを締め付けてください。

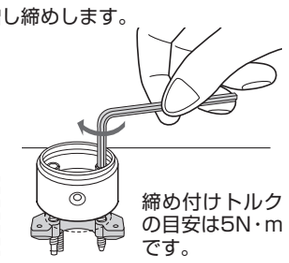
⑥もう一方のボルトも締め付ける



禁止
・逆回転しないでください。
固定具が破損し取り付けられないことがあります。

⑦レンチを横にして増し締めする

・六角レンチを横にして、さらに増し締めします。
しっかり締めてください。

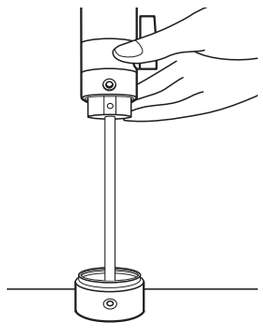


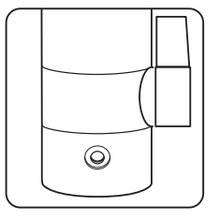
⚠注意
・しっかりと締めてください。
水栓のガタツキや水のしみ込みの原因になります。

締め付けトルクの目安は5N・mです。

⑧水栓を取付金具本体に差し込む

・穴の位置を合わせて差し込んでください。
・水栓と取付金具本体の穴が合っていることを確認してください。

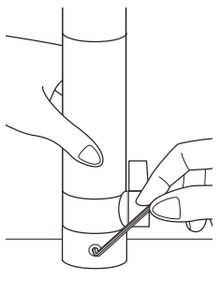




※穴が合っていないとネジが入りません。

⑨水栓を取付金具本体に差し込む

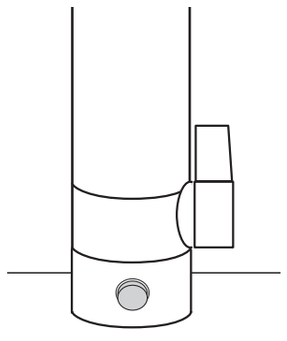
・水栓が浮いていないことを確認して、しっかりと締め付け、水栓がガタつかないことを確認します。
・水栓を押さえながら本体止めネジを締め付けます。



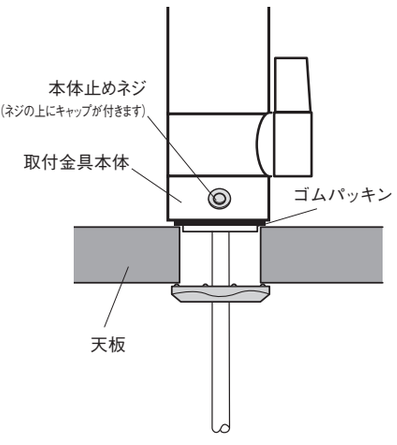
⚠注意
・締め付けトルクの目安は5N・mです。

⑩ キャップを取り付けて完了

・キャップを本体止めネジに被せて出来上がりです。



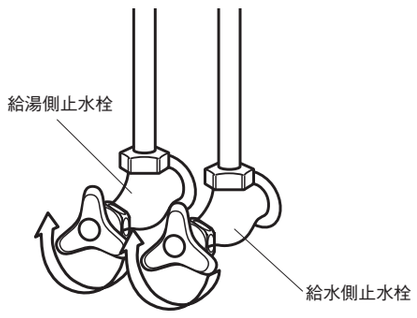
■水栓据付完成図



4 - 3. 配管接続の手順

※管工事業者に依頼してください。

①給水・給湯止水栓を閉める。

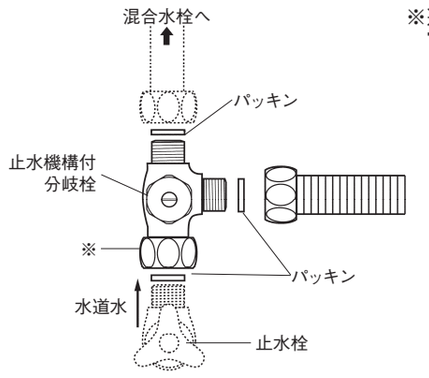


⚠注意

・給水、給湯を間違えないように接続してください。
（水を出そうとしても、湯が出てやけどをするおそれがあります）
・パッキンを確実に挿入してください。
（パッキンが挿入されていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
・一次給水側は、特に水漏れのないように確実に接続してください。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）

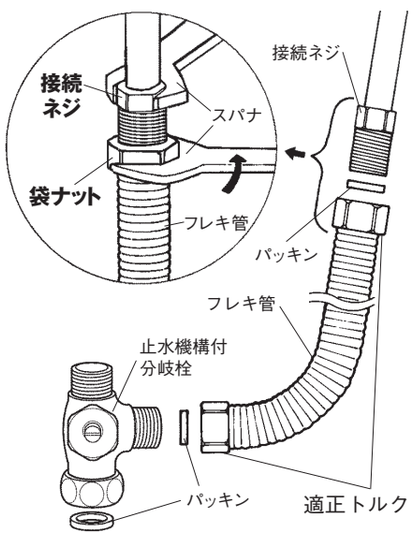
②給水管に止水機構付分岐栓を取り付けてください。

※適正トルク：
7～8N・m

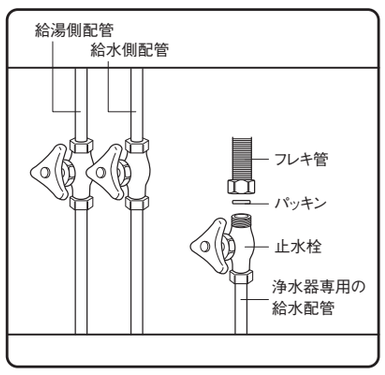


③フレキ管を接続します。

・フレキ管を止水機構付分岐栓に取り付け、片方を浄水器一体型水栓の接続ネジのついている接続管に取り付けてください。
※フレキ管の袋ナットを取り付けるときは、浄水器一体型水栓の接続ネジの上部を片方のスパナで十分に支えて、締め付けてください。



※浄水器専用の給水配管がある場合は、止水栓に直接フレキ管を接続してください。



⚠注意

・パッキンを確実に挿入してください。
（パッキンが挿入されていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
・一次給水側は、特に水漏れのないように確実に接続してください。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）

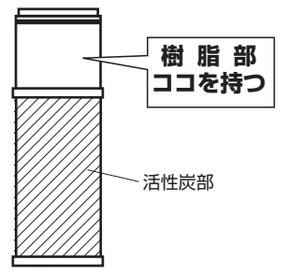
⚠注意

・パッキンを確実に挿入してください。
（パッキンが挿入されていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
・フレキ管取り付け後、しっかり接続されていることを確認してください。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）

4 - 4. 浄水カートリッジ取付方法

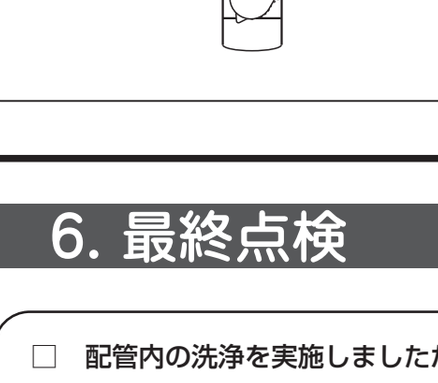
浄水カートリッジは、必ず樹脂部を持って取付してください。

活性炭部に強い力や衝撃が加わると、折れたり、変形して性能が発揮されないおそれがあります。

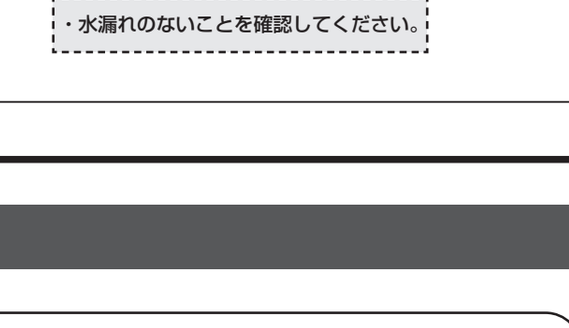


浄水カートリッジ取付は必ず水を止めてから行ってください。

1. カートリッジキャップを回して本体から外す。



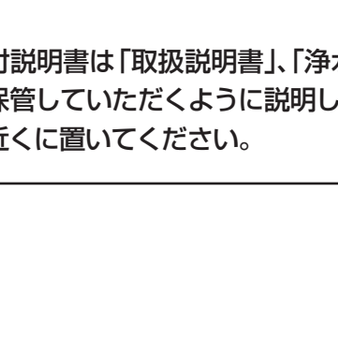
2. 新しい浄水カートリッジのOリング側をカートリッジキャップに入れ、本体に取り付ける。



⚠注意

・清潔な手で交換してください。

3. カートリッジキャップを閉めた後、レバーハンドルをゆっくり開き、約1分間水を出す。



⚠注意

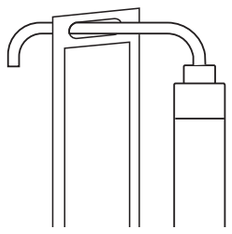
・水漏れのないことを確認してください。

5. 据付後の点検

※管工事業者に依頼してください。

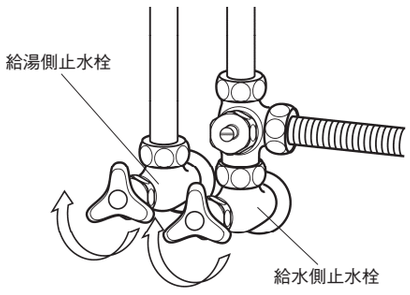
★ご使用開始まで時間がかかる場合

お客様が、実際にご使用になるまで時間がかかる場合、浄水カートリッジは取り付けず右図のように保管してください。



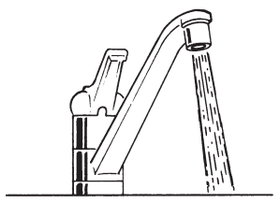
浄水カートリッジが入ったビニール袋は水栓の吐水パイプに引っかけてください。

①給水・給湯止水栓を開く。



②配管内を洗浄する。

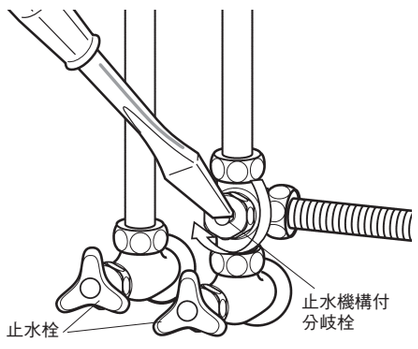
・既設の混合水栓等で水を十分に流してください。



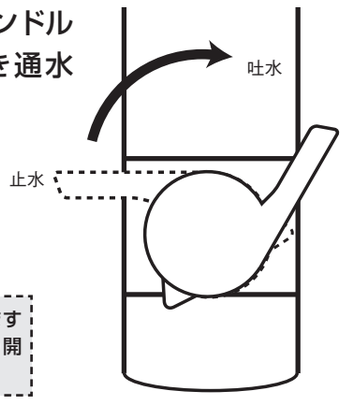
⚠注意

・浄水器に水を流さないでください。

③浄水器側の止水機構付分岐栓を開く。



④浄水のレバーハンドルをゆっくり開き通水する。



⚠注意

・通水開始時に空気が出ますので、レバーはゆっくり開けてください。

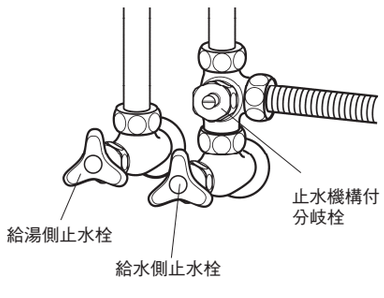
⑤配管各部の水漏れを確認する。

⚠注意

・レバーハンドルの開閉操作を繰り返し行って、水漏れがないことを確認してください。

⑥流量の調整

・設置条件を再確認の上、水栓本体のレバーハンドル全開で適量が得られるよう止水機構付分岐栓で調整してください。



6. 最終点検

- □ 配管内の洗浄を実施しましたか？
- □ 水漏れはないですか？
- □ 流量は適切ですか？
- □ 水栓本体は確実に締め付けられていますか？
- □ この据付説明書は「取扱説明書」、「浄水カートリッジ」とともにお客様にお渡しして、大切に保管していただくように説明してください。手渡しできない場合、据付終了後、製品の近くに置いてください。

三菱ケミカル・クリンスイ株式会社

●製品に関するお問い合わせは下記までお願いします。
クリンスイサービスセンターU係
0120-328-432
受付時間／平日 10：00～17：00（土・日・祝日 10：00～16：00）

© MITSUBISHI CHEMICAL CLEANSUI CORPORATION 2021-2024